

ワンデーレスポンス

設計変更審査会

3者会議

の割以上前向き評価

国交省調査 継続求める声が大半

国土交通省が、同省発注工事を導入している「3者会議」と「設計変更審査会」「ワンデーレスポンス」について、受注者へのアンケートを行ったところ、0割以上が前向きに評価していることが分かった。「良かった」または「おおむね良かった」と回答した割合は、3者会議が81%、設計変更審査会が90%、ワンデーレスポンスが84%で、有効性を認めている受注者が大部分を占めた。今後のあり方についても、改善を希望する意見はあるものの、大半が継続を求めている。国交省は、高評価が多かったことを踏まえ、「今後さらに導入を増やしていきたい」（官庁技術調査課）としている。

国交省は、公共工事の図を取り組むの一環として、発注者、設計者、施工者が情報共有を図るための話し合いを行う「3者会議」、現場で発生した問題に発注者が即日対応する「ワンデーレスポンス」、設計変更に関する意思決定過程を透明化するための設計変更審査会を導入している。

調査結果によると、3者会議については、「おおむね良かった」が58%で最も多く、「非常に良かった」が33%で続いた。「あまり良くなかった」は8%で、「取らなかった」との回答はゼロ。今後については「継続すべき」が89%に上り、「継続の必要はない」は2%に留まった。「今後改

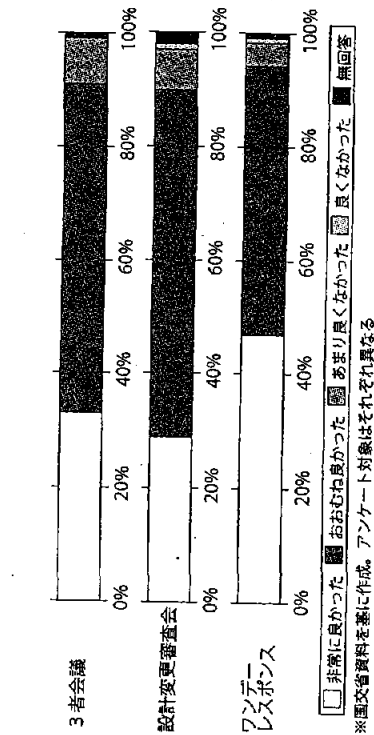
善してほしい点がある」との回答も33%あった。

設計変更審査会については、ワンデーレスポンスについても、3者会議と同様、「おおむね良かった」と「非常に良かった」との回答が大部分を占めた。

今後については、設計変更審査会について「継続すべき」が61%で、「継続の必要はない」が29%。「今後改善してほしい点

がある」は33%だった。ワンデーレスポンスでは、「継続すべき」が61%で、「継続の必要はない」が1%。「今後改善してほしい点がある」は33%だった。

国交省は本年度、3者会議や設計変更審査会、ワンデーレスポンスなど、設計変更分野で様々な施策を一体的に導入・活用する「設計変更円滑化」



は、3者会議

「3者会議」は、発注者、設計者、施工者が情報共有を図るための話し合いを行う。この取り組みについて、工事発注した各地方整備局が本年度上半期に受注者へのアンケートを実施。この同様の設計変更に関する調査結果について本報が集計した。

調査結果によると、3者会議については、「おおむね良かった」が58%で最も多く、「非常に良かった」が33%で続いた。「あまり良くなかった」は8%で、「取らなかった」との回答はゼロ。今後については「継続すべき」が89%に上り、「継続の必要はない」は2%に留まった。「今後改

善してほしい点がある」との回答も33%あった。

設計変更審査会については、ワンデーレスポンスについても、3者会議と同様、「おおむね良かった」と「非常に良かった」との回答が大部分を占めた。今後については、設計変更審査会について「継続すべき」が61%で、「継続の必要はない」が29%。「今後改善してほしい点

がある」は33%だった。ワンデーレスポンスでは、「継続すべき」が61%で、「継続の必要はない」が1%。「今後改善してほしい点がある」は33%だった。

国交省は本年度、3者会議や設計変更審査会、ワンデーレスポンスなど、設計変更分野で様々な施策を一体的に導入・活用する「設計変更円滑化」